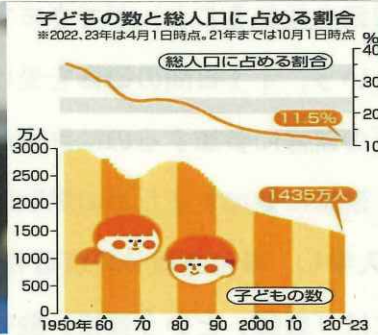


住職の写真日記より【令和5年5月】

コロナもインフルエンザと同じ扱いになり、ゴールデンウィーク中はどこも賑わっていたようですね。お寺の行事も中止することなく開催できているのはありがたい事ですね。桜もあつという間に散っていきました。6月は、早い所では近隣寺院で報恩講が始まります。



1日 石川佳純さん引退

まだまだやれそうな気がしていましたが、もう30歳なんですね。東京オリンピックでの銀が印象的でした。

5日 こどもの日の記事

ウチの息子が生まれた2000年からみると、500万人も出生数が減少しているんですね。

7日 初のお立ち台

何度か紹介している西武の若林君。この日はヒット2本、2打点の大活躍。これからは頑張ってもらいたいです。



品田雅俊氏



11日 ノッポさん死去

子供のころ、NHK教育でやっていたこの番組を欠かさず観ていました。88歳にもなっていたんですね。

12日 副市長も檀家さん

副市長の品田さんも古くからの檀家さんです。横田市長と共に市のためによろしくお願いします。60歳。

13日 京都の鴨川にて

本山の法要に団参で来ていた明善寺ご一行と純正が合流し、一緒に食事。祖父である前住職さんと久々の再会でした。



18日 今年、初アスパラ

農家の檀家さんから毎年いただいています。とても太く立派で、みんなで美味しくいただきました。



20日 5年ぶりでした

天気が良く仙台の弟も帰省していたので、中庭でバーベキュー。子供らがいないとやらないですね。

24日 二胡のコンサート

近隣のご住職さんのお声かけにより婦人会報恩講の後に開催。ジャンの演奏は素晴らしい、日本語も大変上手でした。

坊守の独り言

「姜(ジャン)暁(ショウ)艶(イン)・二胡コンサート」を5月24日婦人会報恩講にあわせ行いました。

お寺でのコンサートはもう何年も開催されていませんでした。婦人会の皆さんも芸術鑑賞がめっきり縁遠くなっていたので、久しぶりのお寺コンサートを楽しみにしていました。

コンサートのお話を3月に頂き当日を迎えるまで、札幌市の安楽寺様、当別町の勝圓寺様には、姜さんとの打ち合わせ、スタッフの確保、宿泊や食事、移動などを手配してもらい北海道公演4日間を支えて下さいました。

最終日だった千正寺での公演も、姜さんとスタッフとの息ピッタリの演奏に魅了され、一曲一曲に手拍子はもちろん、知っている曲では口ずさむ方、涙ぐむ方とそれぞれの心に響く二胡の音色。「生の演奏」っていいですね。「カラダで体感するって大切だな」と。

姜さん、安楽寺様、勝圓寺様、杜本さん、素晴らしいチームワークに感服です。ありがとうございました。千正寺仏教婦人会を代表してお礼申し上げます。

姜さん、また来てね！